

# きずな

VOL.001

2012.8.15 発行  
(平成24年)

編集\*企画 広報部会

〒300-3257

つくば市筑穂1-10-4(大穂庁舎内)

Tel 029-879-5199 Fax 029-879-5198

HP・<http://www.tsukuba-sc.com>

発行 (公社)つくば市シルバー人材センター



## 目次

新理事長新任の挨拶	二頁
新部会員及び 委員会会員	三頁
新地区役員	三頁
新事務局長 の新任の挨拶	三頁
お客様 アンケート	四頁
入退会者	五頁
就業状況	五頁
編集後記	五頁
理事会の内容	五頁
事務局日誌	五頁



# 理事長に就任して

中 博史

七月の理事会で選出され理事長に就任しました。新公益法人に移行後の初代の理事長の大役に戸惑いと責任の重大さ実感しています。昭和六十一年（1986）年「高齢者の雇用安定法」が制定され各自治体にシルバー人材センターが設置され二十六年が経過しました。今では全国で一千百団体、七十六万三千人の会員と三千億の事業収入を示す大きな組織です。つくば市シルバー人材センターも七百人の会員と四億円の事業収入を持つ組織になりました。



新公益法人「公益社団法人つくば市シルバー人材センター」として再出発したこの時、シルバー事業に携わる全ての人々が、シルバー人材センター設立の原点を再確認し、新たな一歩を踏み出す必要があるのでは、と思っています。組織が大きくなり、その中にいる人々は組織の一員になり、その根幹が見えなくなるものです。シルバー人材センター設立の基本は、地域社会再生の「運動体」としての役割です。会員の皆様が就業を通じて地域に影響を及ぼし、生き生きとした活力ある地域社会の再生に貢献することです。シルバー人材センターは、今多く存在するNPO法人の先駆的な存在であり、能動的な「運動体」としての役割を期待されています。

去る六月二十九日の総会で、平成二十四年度の事業計画が皆様によって承認されました。事業計画は、新しく編成された各部会によって執行されますが理事長としての私のシルバーの運営方針を述べていただきます。

一、更に開かれたシルバー人材センターをつくば市シルバー人材センターは七百名の会員を有しています。会員の情報をセンター事務局は把握していません。把握しているのは、ほんの一部です。就業情報はもとより各部会の活動情報、経営情

報等もセンターの情報媒体を使って開示していません。今回も各部会を公募しましたが、今後も広く人材を求めてゆきたいと考えています。私は会員皆様の力を信じています。七百人の会員が心一つにして行動すればセンターは一変します。

二、公平公正で謙虚で厳しいセンター運営を

会員に対しては公平公正を旨として物事を処理します。ある会員やグループに便宜を図ったり物事を決めたりすることは事務局職員を含め戒めます。特別の任務を託したグループに便宜を図ることはセンターの将来を考へる事はありません。この際そのグループの任務、便宜を与えた内容等は公表します。会員の皆様はシルバーの理念である「自主・自立・共働・共助」を旨として行動して下さい。自立には残された人生を力強く生きること、自分を律し謙虚に生きることの意味が込められています。この理念に反する会員には厳しく臨む所存です。

三、安全・適正就業の推進を  
「安全は全てを優先する」を合言葉に労働災害の撲滅に臨みたいと考えています。今年度になつて3件の人身災害が発生しています。いずれも重傷災害です。作業に臨む際は次の3つの事項を確認して下さい。

(一) 高齢者であること。自分の思っている以上に各種能力は低下していることを自覚して下さい。

(二) 自分の作業環境をチェックし「不安全な状況」を排除してから作業にかかってください。作業工具は完全か、使用機器材に不適合なものはないか、頭の先からつま先まで問題はないか、作業範囲の確認は、作業に支障のある物は排除したか、養生の必要なものの処置等の確認作業のうえ「よし」と判断し作業を始める習慣をつけて下さい。

(三) 不安全な行為は絶対に行わないで下さい。高所作業での命綱の不使用、安全装置を取り外しての機器の使用、稼働しているままで何かの処置をする行為、養生の必要な場所に所定の対策をしないままの作業等です。

以上の事項を確認し自分で「絶対安全だ！」と確

信を持ったうえで作業を開始して下さい。私たちの仕事はそんなに能率を追い求めるものではありません。安全で品質を重んじる仕事に心がけ、なにより就業を通じて地域社会再生の原動力になることです。

「仕事は会員全員のもの！」です。特定の会員の就労時間が極端に多くなったり、作業があるグループが独占的に行ったりする就業は避けて下さい。広く仲間全員が平等に就労できるよう班長さんが率先して取り組んでください。会員の皆さんを信じ共働・共助の精神で臨めば何の問題もありません、これが適正就業の取組みです。

四、何事も積極的に物事に取り組んで下さい  
どんな仕事でも危険やリスクは内蔵してあります。ただ危険だから、リスクが有るからと判断して仕事を断ったり、諦めたりしないで下さい。そのリスクや危険度の判断を慎重に行い、それに対して取り組めばシルバーの私たちでもほとんど仕事はクリアーできます。積極的に取り組んでたとえ失敗してもその責任は問いません。むしろ消極的に取り組み仕事を逃がしたり、断ったりすることを問題にします。

その他、今年度取り組むべき特記事項としては中長期計画の策定があります。新公益法人として出発した年に、「これからのつくば市シルバー人材センターのあるべき姿」を、予断を交えず皆で考えましょう。策定委員は公募しますのでよろしくお願ひします。

「業容を拡大してシルバー経営の安定を」と言いたいところですが、現下の経済情勢では非常に難しい話です。その努力は惜しみませんが、皆さん方にお願ひしたいことは、「今の就労を大切に、失う事の無いように」です。就労場所を守ることも大切な就業開発活動と認識すべきです。

最後になりましたが、これから盛夏を迎えます。特に野外で作業を行う方々は毎日の体調に気を遣い、無理な作業は避け、熱中症対策を十分にとり就業お願ひします。

皆さんの御協力なしには何も出来ません、絶大な協力よろしくお願ひします。



# 各部会員及び委員会

平成二十四年七月二十七日の理事会にて、各部会員及び委員会が決められましたので報告致します。これから部長などが決まっています。

総務部会	
理事	太田 武夫
別所 隆	
岡本 進	
遠藤 忠	
東條 三郎	
橋本 憲明	
福田 征男	

事業部会	
理事	板橋 正雄
狩谷 正	高橋 修
宮島 利平	中島 肇
梅田 三郎	秋下 好正
大森 恵司	清水 和夫
岡田 征男	遠坂 正彦
加地 浩成	松宮 紀央
小島 数男	
高山 廣	
橋本 重則	

広報部会	
理事	柴田 清美
白井 キイ	
新田 敬一	
金丸 博文	
村上 信義	
成島 和子	

女性部会	
理事	小倉 武子
金井 久子	
飯島 道子	
木田 輝子	
榊原 敬一	
座馬 孝子	
高野 島子	
皆見 邦子	
八巻 照雄	

リンク審査委員会	
理事	太田 武夫
狩谷 正	
高橋 修	
宮島 利平	
後日、決定	

安全委員会	
理事	太田 武夫
高橋 修	
中島 肇	
榎並 光寿	
大塚 迪男	
岡野 輝夫	
桜井 茂	
田畑 与市	
田中 剛郎	
長山 吉雄	

# 各地区の役員

各地区懇談会にて、各地区の役員が決められましたので報告致します。

## 荻崎地区

地区長	岩田 省治
副地区長	小林 康彦
会計	小泉 光秀

## 筑波地区

地区長	飯村 兠夫
副地区長	大塚 迪男
会計	寺嶋 恵之

## 桜地区

地区長	稲月 一高
副地区長	菊池 達也
会計	尾形 幹夫

## 大穂地区

地区長	八巻 照雄
副地区長	池田 士朗
会計	椎名 次男

## 豊里地区

地区長	岡野 輝夫
副地区長	片平 盛雄
会計	吉井 正

## 谷田部地区

地区長	田口 真人
副地区長	菊澤 維員
会計	橋本 憲明

## 新任の挨拶

公益法人つくば市シルバー人材センター  
事務局長 神立又一



会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私、平成二十四年四月一日付をもちまして事務局長を拜命致しました。

また、平成二十四年四月一日付で公益法人へ移行手続が完了し、公益法人つくば市シルバー人材センターとしてスタートいたしました。

センターが「自主・自立・共働・共助」の理念に添って健全な運営が出来ますよう事務局員一丸となり努力して参りたいと考えておりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。



平成二十三年度

お客様アンケート実施 回答状況  
 今回のアンケート実施に顧客選別は、千顧客の中からジャンル別、地区別などを考慮して、広報部会員三名で、ランダムにて百顧客を抽出し、実施しました。

平成二十四年三月二十二日現在

- アンケート回収顧客数 49枚
- 使用出来る枚数 47枚
- 使用出来ない枚数 2枚 (宛所不明による返却)

☆顧客からの甘辛コメントがあつたものを列挙します。  
 好感度のコメント

☆大変、助かります。もっとお願いしたいと思いま

す。

☆今後とも、よろしくお願い申し上げます。

☆お世話様、感謝しております。

☆短時間できれいになりました。有難う、これからもお願いしたいと思います。

激辛のコメント

★非常に勤務態度の悪い方がいます。改善・入れ替えを要望します。

★職種によって満足度が違います。

★ハガキ請求書の内訳の中身がはつきりしない。

★最後まできちんと仕事をしない人がおり、不満なときがあります。

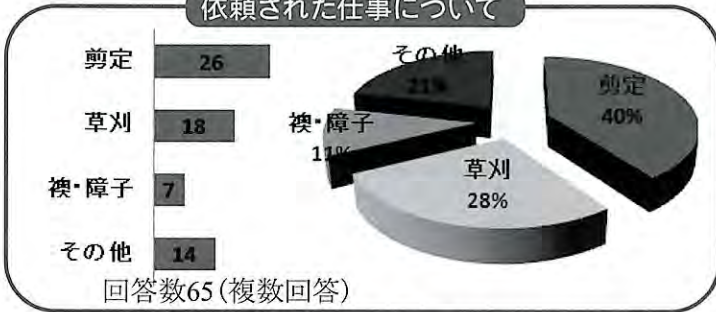
☆ 広報部会コメント

顧客様の甘辛コメントをふまえ、部会ではこのコメントを真摯に受け止め会員さんの質の向上に対し、机上の作戦ばかりでなく、実践に向けた作戦を計画し、センターが一丸となって考える事では無いかと考えます。

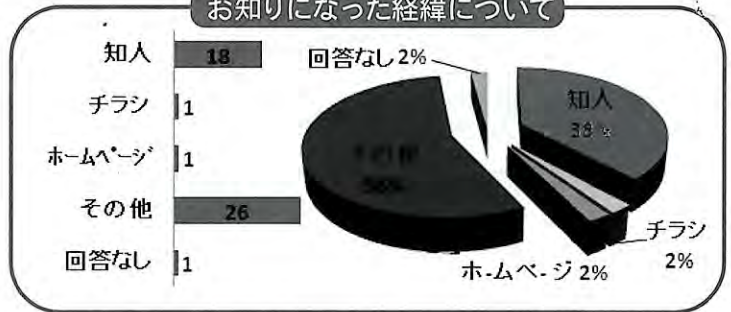
センターの各部会と連携を密にして、想定しうる事象のかぎりを忌憚のない意見の出し合い、外部に広報していくことが必要不可欠と思ひます。

また、事務局職員もシルバー人材センターの向上発展の為に、活気ある事務局にすべく、マンネリ化した日常業務の問題点を改善することが必要であり、経験豊富な会員が事務局で業務の一部を遂行していくのもセンター改善の一つかと思ひます。

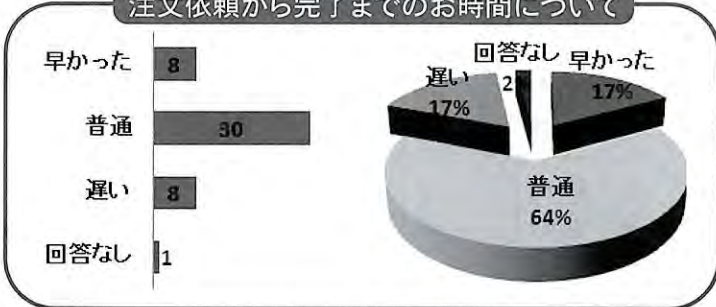
依頼された仕事について



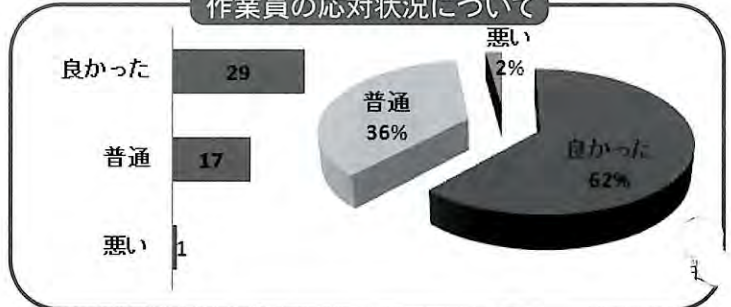
お知りになった経緯について



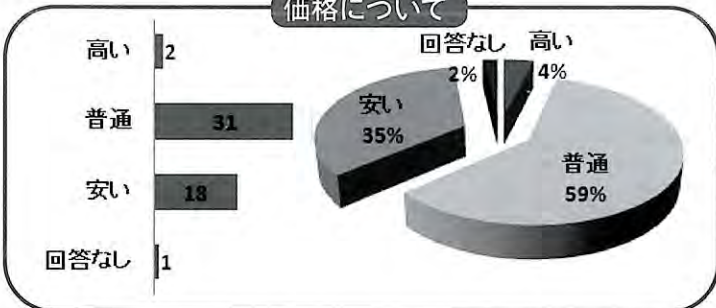
注文依頼から完了までのお時間について



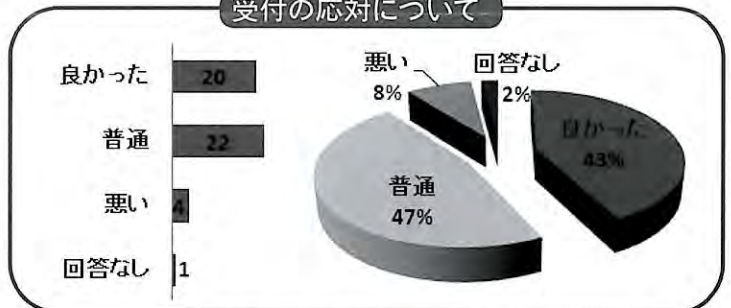
作業員の対応状況について



価格について



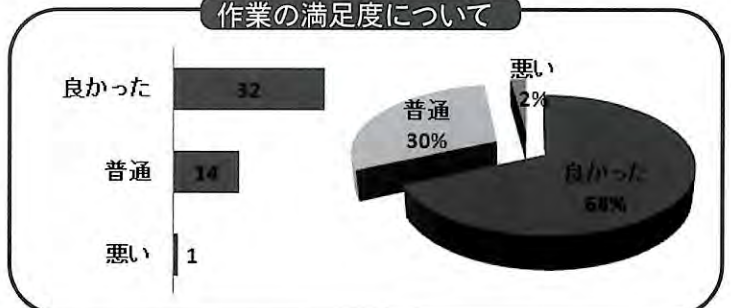
受付の対応について



今後のご利用について



作業の満足度について







一〇七月

### 新入会会員紹介

- |       |       |       |       |       |      |       |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |        |       |        |       |       |       |      |        |       |       |        |       |      |     |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|------|--------|-------|-------|--------|-------|------|-----|
| 大塚 勝之 | 池田 士朗 | 飯塚 滋雄 | 小坂 正道 | 神立 豊  | 今井 均 | 余田 章  | 岡田 守男 | 山口 孝男  | 片岡 隆子 | 大川 焯修 | 屋代 文夫 | 荒井 功三 | 手塚 勉  | 原山 保春 | 新堀 きち | 森 泰道  | 伊藤 政人 | 石岡 行則 | 佐藤 文信  | 小池 吉夫 | 湯之上 五郎 | 工藤 正  | 宮内 一雄 | 中田 秀哲 | 高橋 勲 | 久世 泰次郎 | 井上 久夫 | 小川 健二 | 原 孝    | 松崎 和子 | 番澤 稔 |     |
| 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂   | 桜     | 桜     | 桜      | 桜     | 桜     | 桜     | 桜     | 桜     | 桜     | 桜     | 桜     | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎   | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎   | 茎崎  |
| 大塚 和  | 木村 皓治 | 渡邊 寛治 | 野口 善和 | 永田 勝弘 | 阿部 忠 | 宇都宮 章 | 櫻井 旻  | 堀内 シツ子 | 市野 沢彰 | 大里 隆夫 | 菊田 潔  | 岡野 攻  | 多田 適男 | 関 千代  | 根本 光枝 | 北島 忠義 | 関根 英則 | 関持 潔  | 岡田 千津子 | 坂口 信光 | 荒井 寿夫  | 杉田 照江 | 中山 勝喜 | 成田 清志 | 長部 光 | 小野村 文志 | 谷田部 武 | 稲葉 敏子 | 久郷 まつ子 | 宮沢 初江 | 中川 明 |     |
| 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部  | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部  | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部  | 谷田部 |

### 退会会員

- |       |        |         |        |        |        |        |        |       |       |         |       |       |       |       |       |        |       |        |       |        |        |        |       |       |       |       |       |        |        |      |     |    |
|-------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|------|-----|----|
| 渡辺 和宏 | 山口 美代子 | 阿久井 伊せ子 | 高橋 千恵子 | 河野 美智子 | 遠山 多江子 | 長谷川 和子 | 上野 静夫  | 窪庭 正昭 | 砂押 信雄 | 大浜 志郎   | 渡辺 義明 | 西川 和博 | 柄澤 邦夫 | 深谷 清  | 田中美實  | 賀曾利 秀夫 | 池田 道春 | 高橋 伸治  | 高田 節子 | 竹内 聰仁郎 | 福岡 昭子  | 恩田 多美子 | 浅野 義男 | 石倉 弘見 | 中島 一男 | 青木 悦子 | 富田 叶子 | 秋野 栄   | 斉藤 けい子 | 西村 正 |     |    |
| 桜     | 桜      | 桜       | 桜      | 桜      | 桜      | 茎崎     | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎      | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎     | 茎崎     | 茎崎     | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎    | 茎崎     | 茎崎     | 茎崎   | 茎崎  |    |
| 堤 慧   | 滝本 義夫  | 飯塚 東子   | 中谷 登   | 寺田 好子  | 武井 好子  | 齊藤 まち子 | 高田 きみ子 | 奥沢 親子 | 橋本 満  | 船山 励三   | 中勢 直之 | 原田 常美 | 叶野 勝好 | 吉川 栄一 | 桜井 正  | 山中 恵美子 | 鈴木 勝男 | 原澤 喜代子 | 関 眞佐雄 | 高橋 義勝  | 菊地 弘尚  | 坪井 宏之  | 塚田 順子 | 三宅 芳男 | 木鈴 亨子 | 酒井 勇一 | 大原 和夫 | 安間 恵美子 | 佐藤 旬   | 大山 剛 |     |    |
| 大穂    | 大穂     | 大穂      | 大穂     | 大穂     | 大穂     | 大穂     | 大穂     | 大穂    | 大穂    | 大穂      | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂     | 大穂    | 大穂     | 大穂    | 大穂     | 大穂     | 大穂     | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂    | 大穂     | 大穂     | 大穂   | 大穂  | 大穂 |
| 前島 勝夫 | 原科 将俊  | 高島 けい子  | 杉田 進一  | 大塚 貞三  | 青木 幸子  | 菊池 征子  | 仁平 治   | 白石 守  | 飯田 弘司 | 小田切 ナツ子 | 松長 つや | 林田 國洋 | 栗原 忠孝 | 関 通夫  | 袖山 洋子 | 星野 和夫  | 榎田 幸次 | 今 光衛   | 笹本 和子 | 野村 昇三  | 三谷 タカ子 | 飯田 和江  | 本田 雄一 | 飯泉 国子 | 鷺野 谷章 | 市川 よね | 尾野 耕二 | 中野 耕二  | 三谷 美代子 |      |     |    |
| 谷田部   | 谷田部    | 谷田部     | 谷田部    | 谷田部    | 谷田部    | 谷田部    | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部     | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部    | 谷田部    | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部   | 谷田部    | 谷田部    | 谷田部  | 谷田部 |    |

平成24年6月末までの就業状況

会員数	受注件数	就業延人数	契約金額	就業率
729人	1,191件	15,843人	88,917千円	65.4%

### 編集後記

本年四月一日、私達つくば市シルバー人材センターが、社団法人から公益社団法人に移行し、新法人として、第一号は、新標題で発行となりました。この前には、新広報部会メンバーの選考の遅れや、総会後の新役員体制等を考慮すると日程的に無理となるため、旧広報部会からシルバーニュース号外を発行して頂きました。

新標題の「シルバーニュース」は、昨年の東日本大震災被災での経験を忘れることなく、人としての生き方で最も大切な交わりをいまいちど思い起こし永遠に後世に繋げるとの思いで『きずな』と改題し、内容一新で発行しました。

当シルバー人材センターも、公益法人として認められ、社会的信用も得たわけですが、これまで以上に、社会のために力を発揮して行く事が重要課題となると思えます。それには、会員一人ひとりの意識を高めることが必須課題としての取組みが大切になると思います。この取組みは、センター会員すべてと、事務局職員もこれ迄以上に積極的に研鑽し、一丸となって実行するべきと考えます。



# 理事会開催報告

## ● 平成二十三年度 第十回理事会

期日：一月十九日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項  
・新入会員七名承認

議決事項

・平成二十三年度第三回補正予算が決議された。  
・資格取得支援規程の制定

## ● 平成二十三年度 第十一回理事会

期日：二月十六日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項  
・新入会員四名承認

議決事項

・三月通常総会中止が決議された  
・嘱託職員就業規則の雇用期間について一部改正された。

## ● 平成二十三年度 第十二回理事会

期日：三月十五日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項  
・新入会員二十六名承認

議決事項

・特別社団法人の名称変更による諸規定の変更  
・会費規約の廃止  
・役員等の費用弁償及び旅費に関する規程の廃止  
・常務理事の身分及び給与等に関する規程の廃止  
・役員等の報酬等に関する規程の一部改正について  
・役員等の費用弁償及び旅費に関する規程の分離制定  
・適正就業期間に関する取扱方針の運用についての廃止

用についての廃止

についてそれぞれ決議された。

## ● 平成二十四年度 第一回理事会

期日：四月十九日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項  
・新入会員十四名承認

## ● 平成二十四年度 第二回理事会

期日：五月十七日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項  
・新入会員六名承認

議決事項

・職員給与規程（給与表）を全改正した。

## ● 平成二十四年度 第三回理事会

期日：六月二十一日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項  
・新入会員十一名承認

議決事項

・理事・監事の選任について委員会より提出された候補者について決議された。  
・職員期末手当支給率について一部改正された。

## ● 平成二十四年度 第四回理事会

期日：七月二十六日

場所：大穂庁舎シルバー会議室

承認事項  
・新入会員十三名承認

議決事項

・各部会・委員会の候補者について決議された。

# 事務日誌



日	内容	日	内容
4日	1月 仕事始め	17日	入会説明会
6日	12月分会計月次点検	18日	第3回理事監事選考委員会
8日	荻崎新年会	19日	入会審査会/理事会
12日	入会説明会/三役会議	23日	就業開拓員会議
18日	女性会員親睦会	26日	決算審査事前打合せ
19日	入会審査会/理事会	27日	女性部会
20日	桜地区新年会	2日	事業部会
23日	26日 冬季剪定講習会	9日	広報部会
30日	公益認定第1回県審査会	10日	入会説明会
31日	就業開拓会議	10日	第4回理事監事選考委員会
2日	全シ協特別指導	11日	決算審査
3日	2月 新公益法人会計研修会	15日	総務部会
8日	1月分会計月次点検	17日	入会審査会/理事会
9日	女性部会	21日	24日 春季剪定講習会
9日	第1回理事監事選考委員会	28日	自転車部打合せ
9日	入会説明会	29日	子育て支援就業希望者打合せ
13日	安全委員会	31日	第5回理事監事選考委員会
16日	入会審査会/理事会	5日	6月 4月分会計月次点検
17日	派遣に関するヒアリング	5日	豊里地区懇談会
23日	谷田部地区懇談会	11日	大穂地区懇談会
23日	筑波山のしし対策班長会議	14日	入会説明会
27日	事業部会	21日	入会審査会/理事会
5日	3月 ランク審査委員会	25日	広報部会
8日	広報部会	26日	5月分会計月次点検
8日	入会説明会	29日	通常総会
9日	リフレッシュ講習会	1日	7月 荻崎地区懇談会
14日	総務部会	3日	派遣元責任者講習
15日	入会審査会/理事会	4日	臨時理事会
15日	安全標語表彰式	4日	筑波地区懇談会
19日	地区、職群、理事合同会議	5日	谷田部地区懇談会
19日	県シ連打合せ	6日	安全就業推進大会
22日	公益法人第2回県審査会	10日	桜地区懇談会
22日	広報部会	12日	入会説明会
27日	2月分会計月次点検	23日	三役会議
2日	4月 辞令交付式	26日	入会審査会/理事会
3日	臨時理事会	27日	安全運転管理者講習会
6日	第2回理事監事選考委員会	27日	県南ブロック事務局長協議会